

平成26年度 西成区単身高齢生活保護受給者の 社会的つながりづくり事業





地域の3人に1人は
生活保護受給者



約8割が単身の
男性



いま、あいりん地区で暮らす
生活保護受給者たちが
抱えている
問題

働いて、働いて、
ひとりで生きてきた



制度のはざま さまざまな境遇から





生活保護



もらってばかりの負い目



もてあます時間

もらってばかりの負い目



もてあます時間

もらってばかりの負い目

孤独



もてあます時間

老い

もらってばかりの負い目

孤独



もてあます時間

病

老い

もらってばかりの負い目

孤独



もてあます時間

病

老い

もらってばかりの負い目

孤独

孤立



もてあます時間

病

老い

もらってばかりの負い目

孤独

孤立

不安



もてあます時間

病

老い

もらってばかりの負い目

孤独

孤立

不安

責め



生活には困らない



けれど



生きる尊厳



見失う





みなさんがおっしゃる事



「誰かや何かの役に立ちたい」



地域で 他者と 生き
だれかを元気に 自分も元気にする
そんな 接続地点として



地域のプラットホームに



地 域

草刈、清掃、地域行事の手伝い

若い人がいない

人出が足りない

高齢化で作業ができない

誰に頼めばいいか...



高齢生活保護受給者

お手伝いしたいけれどどこへ行けばいいかわからない

だれに話を聞けばいいかわからない

知り合いがいない不安

地域を知らない不安

ボランティアをしたことがない不安

→ 孤独・不安 → 依存・浪費



双方をつなぐ場

高齢生活保護受給者

安心

登録

- 居場所として利用
- 仲間ができる
- 安心できる場ができる
- 自分の得意なこと、
できること、したいこと
などを伝えられる
- いろいろなことに挑戦
する意欲
- 安心してお手伝いへ

つながりづくり事業

安心

声掛け

- 人手不足
- 公園の草刈
- 道路清掃
- 運動会準備
- 祭り準備・参加
- イベント準備
- イベント参加

地域



ともに考える主体に

高齢生活保護受給者

現実



場所を用意し
サポートをすれば
地域を豊かにする
人材 即戦力に

行き場がない
孤独
まぎらわすために
飲酒やギャンブルへ

つながりづくり事業

マイナスイメージ



保護費を
浪費している

悪いイメージ

地域・社会



居場所から 地域へ社会へ



わたしたちはこんなことを
しています



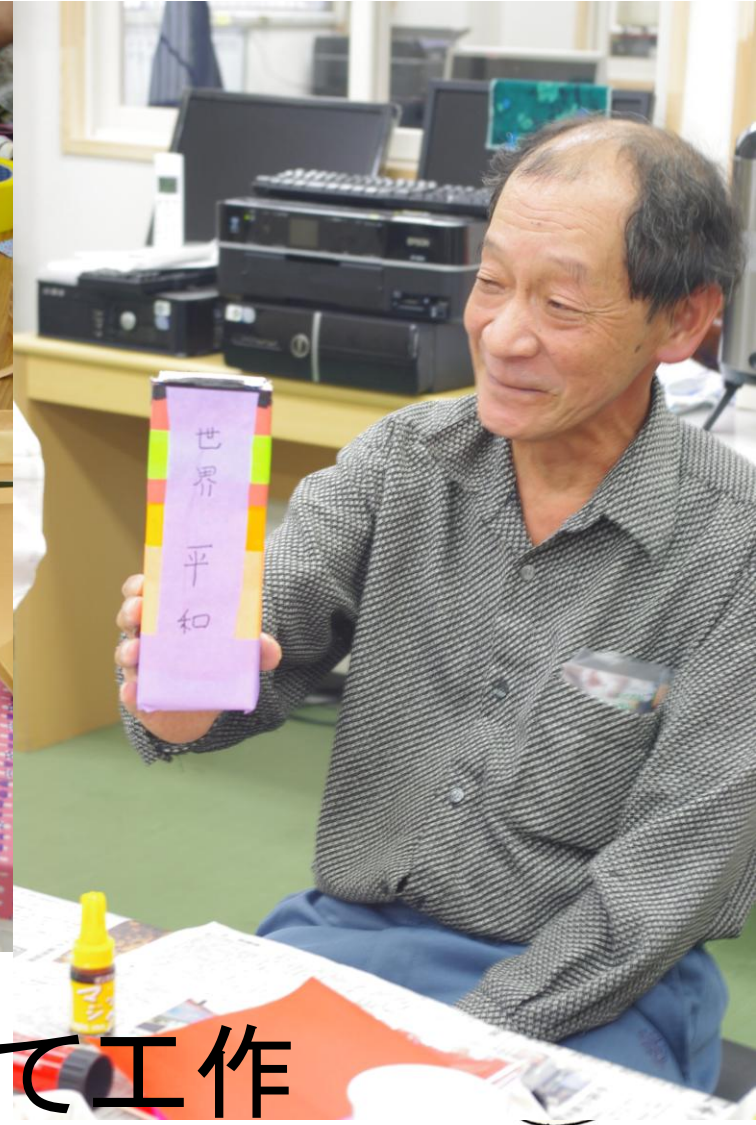
か
ら
だ
と
ほ
こ
こ
る
す

まずは関係づくり
居場所づくりから

ダンサーによる
からだところを
ほぐす
ワークショップ



手を動かす



デザイナーを講師に招いて工作

みんなで創造する



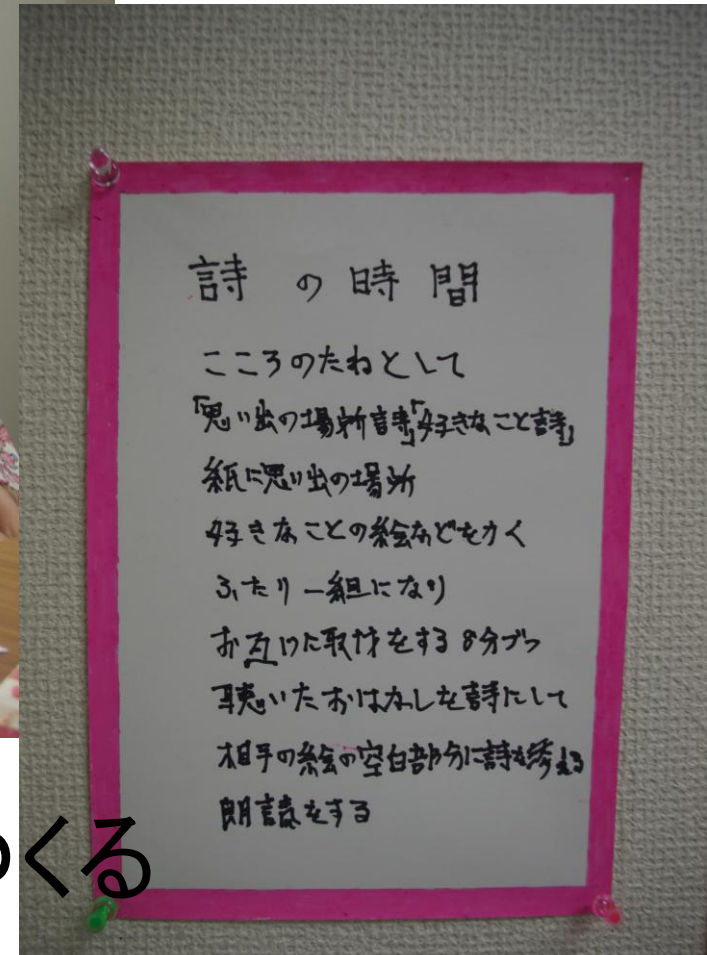
美術講師の美術の時間



書家による 書道の時間



詩人による詩のワークショップ



他者の話を聞き取り詩をつくる

関係やつながりができてきたら



なかまを大事にするように



自分も大事に



ていねいに
くらしの基礎を整える



金銭の預かり



本人といっしょに計画をたてる



本人といっしょに計画をたてる
→ 信頼



本人といっしょに計画をたてる

→ 信頼

その人に合った



本人といっしょに計画をたてる

→ 信頼

その人に合った

そのときに合ったサポート



本人といっしょに計画をたてる

→ 信頼

その人に合った

そのときに合ったサポート

→ 一緒に悩み



本人といっしょに計画をたてる

→ 信頼

その人に合った

そのときに合ったサポート

→ 一緒に悩み

→ 他機関と連携しながら



本人といっしょに計画をたてる

→ 信頼

その人に合った

そのときに合ったサポート

→一緒に悩み

→他機関と連携しながら

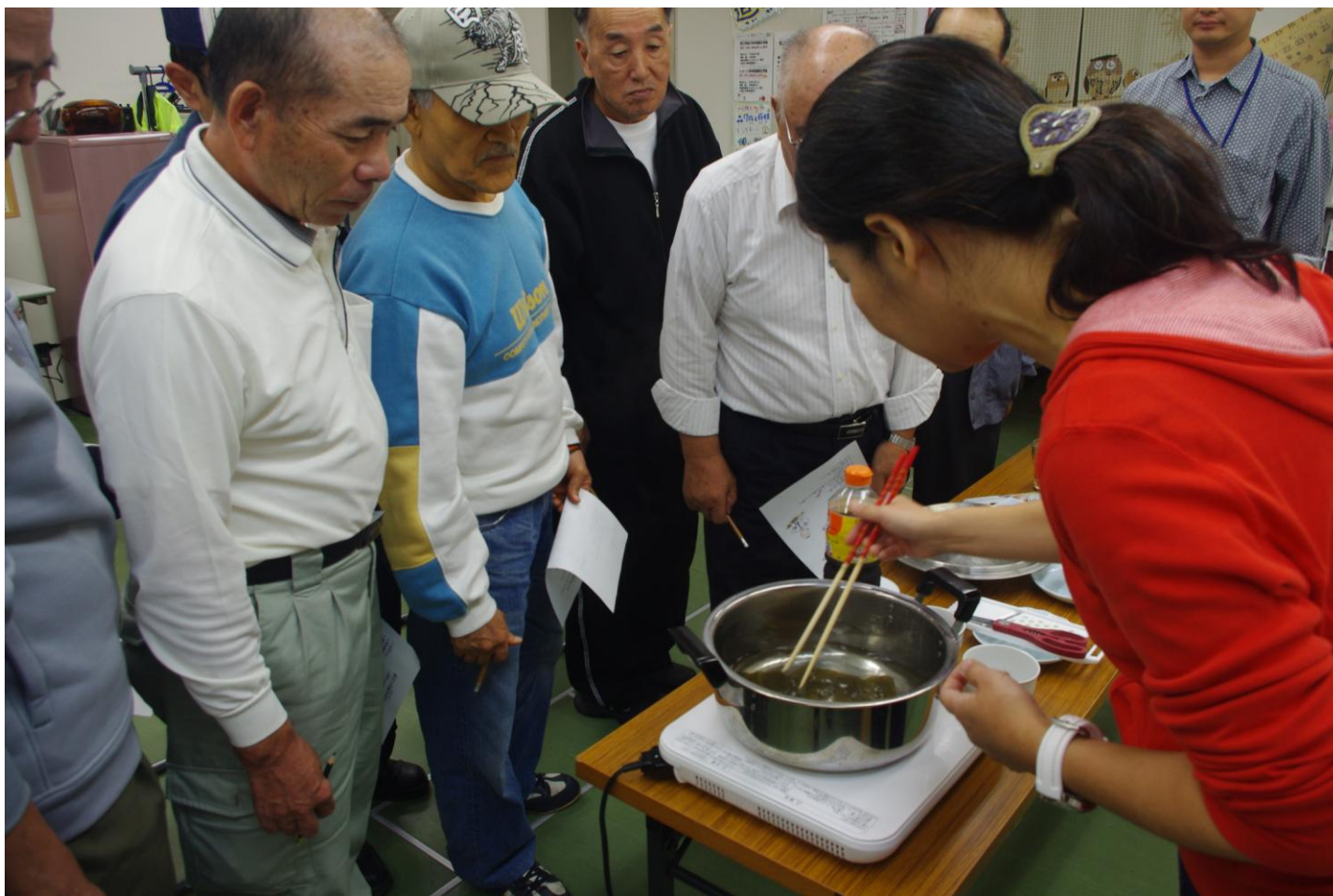
→その人らしい、くらしの支えを



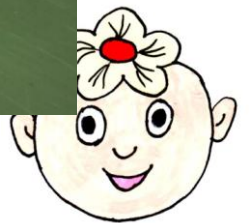
体のことをていねいに



栄養士による味付け講習



看護師による健康相談





足湯 爪切り



食べるものをつくる 料理



みんなで料理をつくる



家でひとりのご飯は 弁当やカップラーメン



週に一度



みんなで作って



みんなで食べる





孤食について

考える



土から
食べるものをつくる





陽をあびて

体を動かす



農作業







7月



8月



9月



10月



12月無農薬野菜を地域に還元



地域活動





公園の草刈り・清掃

地域の祭りの手伝い



小学校・保育園の運動会準備



地域のうんどう会

参加

準備



応援



文化祭の 看板製作



文化祭 に 参加




ひと花
ゆめひろば
本日
開催 
 (10:00~14:00迄)

ひと花劇場
 ○12時~劇情けは人のためならず
 ○12時半~なつメロボイス

ひと花カフェ
 ○てづくりおかし 【小本公衆のほろけ】
 コーヒー・お茶・ジュース

◎ひと花あそびば
 ・てづくりおもちや、しゃぼんさま
 魚っリ 風うせん おりがミ

◎展示 <活動写真> 日誌の作品
 ひと花クックマッパージ
 5分間 座っています (サ・ビス)

ひと花笑劇初公演

月に1度

地域に 開放する日



地域のこどもたちを招待



地域の方が事業を知るきっかけに



ホームページや機関誌の発行



就業体験





仕事 生きがい



仕事を通して 他者とのつながり



新しい自分の発見
生きる勇気

A photograph showing two men in a domestic environment. On the left, an older man with grey hair, wearing a white short-sleeved button-down shirt, is smiling and gesturing with his hands. On the right, a younger man with dark hair, wearing a light blue short-sleeved button-down shirt, is also smiling and looking down at a black Epson printer on a desk. The background includes a white air conditioner mounted on the wall, a window with a wooden frame, and a doorway leading to another room. The overall atmosphere is warm and collaborative.

若い世代に時代を伝え



つなぎ



若い世代に元気をもらおう

利用している人の声



酒量が半分に減った



酒量が半分に減った

からだの調子が良くなって病院に行く回数が減った



酒量が半分に減った

からだの調子が良くなって病院に行く回数が減った
よく眠れるようになった



酒量が半分に減った

からだの調子が良くなって病院に行く回数が減った
よく眠れるようになった
不安がへった



酒量が半分に減った

からだの調子が良くなって病院に行く回数が減った

よく眠れるようになった

不安がへった

お金の無駄づかいが減った



酒量が半分に減った

からだの調子が良くなって病院に行く回数が減った
よく眠れるようになった

不安がへった

お金の無駄づかいが減った

生活に張り合いが出た



酒量が半分に減った

からだの調子が良くなって病院に行く回数が減った
よく眠れるようになった

不安がへった

お金の無駄づかいが減った

生活に張り合いが出た

友人の悪い誘いの話を断ることができるようになった



酒量が半分に減った

からだの調子が良くなって病院に行く回数が減った
よく眠れるようになった

不安がへった

お金の無駄づかいが減った

生活に張り合いが出た

友人の悪い誘いの話を断ることができるようになった
パチンコに行かなくなった



酒量が半分に減った

からだの調子が良くなって病院に行く回数が減った
よく眠れるようになった

不安がへった

お金の無駄づかいが減った

生活に張り合いが出た

友人の悪い誘いの話を断ることができるようになった

パチンコに行かなくなった

一日が過ぎるのがあっという間になった



A photograph showing two elderly men from behind, seated at a white table. The man on the left wears a blue long-sleeved shirt and a light-colored baseball cap. The man on the right wears a grey and white checkered sweater. The table is cluttered with various food items, including instant noodle cups, a bowl of ramen, and several boxes of instant noodles. Some of the boxes have Japanese text, such as 'お宝' (O-treasure), '上丸' (Umaru), and '阪南' (Hannan). A pink bag is also visible. In the background, a window with vertical metal bars looks out onto a green, leafy exterior. The text '知り合いが増えて まちであいさつを交わす人が増えた' is overlaid in white Japanese characters across the lower half of the image.

知り合いが増えて
まちであいさつを交わす人が増えた

「外をあるくと
必ず一度は声がかかるようになったよ」



地域が居場所になる



地域の人の顔と名前が わかるようになる



なにかのときに助け合える



地域の安心感



The image shows a wooden table surface with several origami-related items. In the foreground, there are two completed origami models: a yellow one and a pink one, both featuring a complex, multi-faceted geometric design. Behind them, a white sheet of paper displays black line drawings of similar geometric shapes, likely templates or instructions. A pink folder or book is partially visible on the right side. The text is overlaid in the center of the image.

非日常に機能する
ネットワークではなく

日常の中で編みこまれる 関係性





たのしい
読り合わせ
いすれは人形 (はいねどし)
お思いあふ人 (お) 希望者はス...



さんぽ道の途中に

家と役所の間に



家と病院の間に





さまざまな居場所を



運営

アート

看護

まちづくり

生活支援

野宿者支援





野宿者支援 釜ヶ崎支援機構

アート こえとことばと こころの部屋



NPO法人HEALTH SUPPORT
HINATA—看護

NPO法人生活サポート釜ヶ崎

— 生活支援





キラツと光る今宮

NPOまちづくり今宮
— まちづくり

異分野のNPOが協働する
利用者の居場所と関わる人が
様々な層に増えていく
地域でひとりの人を見守る



登録の条件

- 満65歳以上で
- あいりん地区に住み
- 単身でくらし
- 生活保護を受給している



事業の枠組み

- 社会参加プログラム 113名
- 金銭管理プログラム 3名
- 服薬管理プログラム 0名



わたしたちの 課題



ハードの問題



事業の枠組みの問題

ハードの問題



ほんとうに必要としている人に
事業が届いているか

事業の枠組みの問題

ハードの問題



地域のマイノリティである女性の
居場所づくり

ほんとうに必要としている人に
事業が届いているか

事業の枠組みの問題

ハードの問題



課題について
考えあう場をもつ



支援される 支援する
ではなく



メンバーの知恵と一緒に

(カシ-の作り方)

○ ジヤガ佐

①

皮をむく② 皮に垢

○

人

①

皮をむく② 乱切り

○

玉ネギ

①

皮をむく② 乱切りにする

○

南

房

他機関の取り組みに学びながら



ともに考える





種をまき水をやる





育ち



来たる



日本の 超高齢社会の モデルに



目標は



世界の事例とつながる ネットワークづくり



最後はやっぱり



最後はやっぱり

ありがとう



A bouquet of pink carnations is placed in a clear glass jar. The flowers are in various stages of bloom, with some showing vibrant pink and others a lighter, more delicate pink. The green stems and leaves are visible through the jar. The background is softly blurred, showing hints of a green plant and a yellow object, creating a warm and intimate atmosphere.

ありがとうの
ひと花を

